

適合アダプター

| NO. | RADIATOR CAP APPLICATION |
|-----|---|
| 0 | Thermometer |
| 1 | Pressure Testing Pump With Gauge |
| 2A | Connector R123/R124(Black color) |
| 2B | Connector R123/R125(Blue color) |
| 3 | Mercedes Benz(W123・W126・W124・W201) GM(Buick) Jeep |
| 4 | Peugeot Subaru Chrysler Acura GM (Nova, Spectrum, Sprint) Mitsubishi Nissan Mazda Toyota Infiniti GEO Suzuki Isuzu Mercedes Benz |
| 5 | Honda Toyota Suzuki Mitsubishi Chrysler Acura Lexus |

| NO. | RADIATOR CAP APPLICATION |
|-----|--|
| 6 | Mercedes Benz (ML-class・W163・W164) GM(Aciva・skylark・grand am-1992-2002) |
| 7 | Volvo Saab Sterling Citroen Renault Fiat Alfa Jeep Mini |
| 8 | VW(Vento・T4・Passa-1996・Golf・Beetle・Sharan) |
| 9 | Audi (A4・A5・A6) BMW 345 VW (Passa-1997-2002) Porsche (Cayenne) |
| 10 | BMW (E46・E36・E34・E39・E38・E32・E90) |
| 11 | Audi VW |
| 12 | Ford Mondeo International Land Rover Opel Ssangyong motor |
| 13 | Mercedes Benz (C-class・E-class・S-class・W140・W220・W124・W210・W211・W215・W216・W221・R230) |
| 14 | Ford Mondeo,Focus C-MAX03 |
| 15 | Mazda(M3) |
| 16 | Mercedes A-class (W168) |
| 17 | BMW E60, E63, E64, E65 |
| 18 | VW SHARAN 1.8T2.8 |
| 19 | TOYOTA-RAV4 PREVIA |
| 20 | SAAB |

御使用時は必ずエンジンが完全に冷えた状態で御使用ください。
エンジン及びラジエターが熱い状態では使用しないでください。
ヤケドの危険があります。

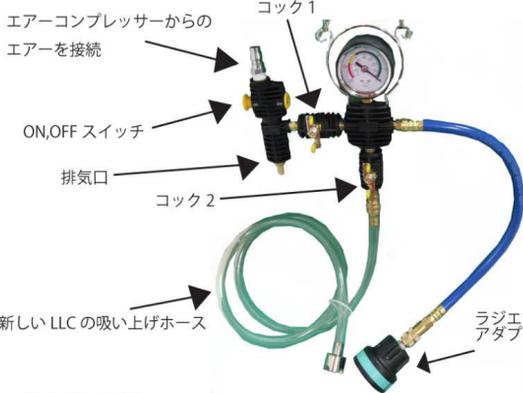
- 1.ラジエターのキャップを開け適合するアダプターを選択し取り付けます。
- 2.手動ポンプとアダプターを接続します。
- 3.ポンプで加圧します。(圧力は各車輛の修理書の指示圧力に設定してください。)
- 4.圧力を保持させた状態にしておきます。圧力が低下する場合ラジエター等冷却システムに漏れがある可能性があります。
- 5.テスト終了後、ホース先端の排圧弁のボタンを押して圧力を抜き、メーターが0になるのを確認してアダプターを取り外してください。
(降圧時、排圧弁より水が出る場合はしばらく待つて排圧してください。)
- 6.使用後はポンプとアダプターを接続した状態でポンプとホース内を清掃してポンプで加圧して内部の水分を排出してください。
- 7.清掃後に毎回ポンプ先端にグリス補充用の穴がありますので、そこからラバーグリスを吸入してピストンを潤滑させてから保管してください。

キャップテスター

ラジエターキャップの2Aか2Bのアダプターを使用して3、4、5のアダプターと同タイプのキャップの作動テストが出来ます。
テストしたいキャップと組み合わせて圧力テストしてください。



クーラントチェンジャー 取扱説明書



※エンジン及びラジエターが熱い時は絶対に作業しないでください。やけどをします。十分に冷えた状態で作業してください。

使用時は、エアコンプレッサーのエア圧を0.6～0.8MPa (6～8Kg f/cm²) でご使用ください。エア圧が高いとラジエターを破損する恐れがあります。

使用する車輛のホース類の劣化がひどい場合は破損する場合があります。御使用をお止めください。

作業前の準備

車輛のラジエター内の冷却水はドレンコック等より完全に抜いた状態でください。
抜き終わったらドレンコックは閉めてください。
新しく注入するLLCをお手持ちのバケツ等に多めに用意してください。



冷却システム内の真空引き

1) 車輛のラジエターのキャップ接続部分に適合するキャップアダプターを選択してください。
※ラジエターのリザーバタンクへ接続されているホースからエアを吸い込む場合はホースピンチャー等でホースを閉じてください。



2) 本体に新しいLLC吸い上げ用ホースを接続します。本体の青色のホースに選択したアダプターに接続します。エアの接続前にコック1とコック2を左の写真のように閉じてください。ON,OFFスイッチをOFFにしてください。



3) エアの接続前にコック1とコック2を左の写真のように閉じてください。ON,OFFスイッチをOFFにしてください。車輛のラジエターにアダプターを接続します。新しいLLC吸い上げホースの先端を新しいLLCを入れたバケツに浸します。(途中でエアを吸わない用にしてください。)



4) コック1を開きます。エアコンプレッサーからのエアを接続します。ON,OFFスイッチをONにしてください。ラジエター内の空気を吸い上げて真空にして行きます。

※負圧計の針がぶれて針が上がらず真空状態にならない時は、本体接続部がしっかり密着しているか確認してください。エアを吸って真空になっていません。車輛のラジエターのドレン及びホース等が外れていないか確認してください。冷却システムにクーラントの漏れがある時も真空になりません。



5) 負圧計の針が20～25inHGに達したらコック1を閉めてください。次にスイッチをOFFにしてください。次にゆっくりとコック2を開きます。バケツ内のLLCを吸い上げてラジエターに注入します。空気が混入しないように注意してください。空気を吸った場合、初めからやり直しになります。

※クーラント注入中に吸い上げ部分がクーラント液に浸かっていないとシステム内にエアが混入します。エアが混入した場合は、初めからやり直して下さい。

6) メーターが正圧(0)になったら、クーラントの注入は完了です。完了後コック2を閉めてください。コック1を開いて残圧を開放してから本体をラジエターから取り外してください。